

谷田部地区区会連合会下への新支部発足（研究学園支部）について

つくば市谷田部地区区会連合会 研究学園支部 支部長 中川西 学

つくばエクスプレス沿線開発の1地区である研究学園エリアは、新しいまちであり、古くらの因習はないものの、ゼロからのコミュニティ形成が必要な地域といえます。2005年8月の街開き以降17年が経過し現在ではエリア人口は2万人を超えました。

区会数も徐々に増え、2016年には本エリアに所在する区会区長の連絡会議が動き出し、2021年12月には「つくば市谷田部地区区会連合会研究学園支部」が設立されました。（本支部は研究学園 エリアに存在する23区会のうち16区会が参加）

最近の活動を紹介すると、2022年11月に支部行事として「研究学園まちあるき+ワークショップ」および「アウトドア・ワーキング実証実験」を行いました。前者について、本エリアは「森と都市機能の調和から生まれる新たな暮らし方」が開発コンセプトの一つに掲げられ、葛城大規模緑地など身近に豊かな自然のある市街地が形成されていることを再確認し、参加者の皆様とワークショップを通して学び

合いを行ったものです。また後者は、つくば市の使用許可を得てテータ松保存緑地を活用したアウトドアでのワーキングスペース設置の社会実験を行い、ニューノーマルの交流機会や街の景観を考える機会となりました。

今後も支部の活動として、区会間の情報交換の会議体の運営のみならず、身近なまちへの関心を醸成するなどの住民へのまちづくり啓発なども地域の区会組織等との連携によって、ゆるやかに取り組んでまいります。



アウトドア・ワーキング実証実験@テータ松保存緑地

地元住民の思いが実を結び住んでよかったまちに



計画的に開発された研究学園は、いまでは緑豊かな美しい景観を誇り、潤いのある住みよい街になりつつあります。この街も、開発当初は荒涼とした寂しい場所でした。街というのは自然に育つものではなく、そこに住む人々の努力と思いによって形づくられるものです。研究学園の成長過程を振り返ると、地元の方々のご尽力を改めて実感します。

最初に「花のきれいな街にしよう」と動いたのは、苅間や面野井に生まれ育った地元の人たちでした。「将来、きれいな桜を見せたい」と千本桜計画がスタートし、毎年桜の苗が植えられ、今ではTX沿線屈指の桜の名所となっています。もう一つ、TX開通当時の研究学園駅は乗降客が少なく、駅前には暗く寂しい場所でした。「せめて冬の間、もっと明るく温かみのある駅前にしよう」と手作りのイルミネーションを飾り、住民を癒してくれました。人通りが少ない街を常時パトロールしてくれたのも、地元の方々です。

このような地元の方々の活動があったからこそ、新しい住民も交流しやすくなり、生活の潤いを見いだすこともできたのです。その歩みは止まることなく引き継がれ、今年も「研究学園さくらまつり」が開催されます。ぜひ住民の方々に楽しんでいただきたいと願っています。

研究学園まちづくり広報紙

第27号 2023.4



人をつなげよう！まちを育てよう！ 広報紙ひろばがつないだ研究学園の活動グループ

けんがく活動団体協議会



第3回交流会（1月21日）模様



研究学園まちづくり広報紙ひろば20号

研究学園が誕生して15年余り。まちとしてはまだ新しく、しかも県外や県内各市町村から移り住んだ人がほとんどのため、地域コミュニティはまだ成長の途上にあります。健康、趣味、子育て、環境、学習など、様々な目的で活動するグループが生まれていますが、横のつながりができないのが課題でした。そういうなか、ひろば20号に掲載した研究学園で活動するグループ紹介が、社会福祉協議会地域福祉コーディネーターの目に留まったことがきっかけで、グループの交流会が開かれました。交流会では、活動するうえでの問題点や課題、これからやってみたいこと、研究学園をどんなまちにしたいか、などが活発に話し合われました。そして、交流会を今後も継続していこうと『けんがく活動団体協議会』が立ち上がり、年に3回程度の交流会を開催し、勉強会や意見交換をしながら連携を深めていくことを目指します。（2面に続く）

ボランティア募集

花いっぱいのもちづくりに取り組みませんか

グリーンの会では、研究学園駅とその周辺の花壇、植樹マス、プランターに季節ごとに花を咲かせています。毎月第1土曜日9時から花の手入れ、春と秋には花の植え替え、また交替で水やりをしています。お花に興味がある方、研究学園を花で彩りたい方、地域コミュニティに参加したいと思っている方、私たちと一緒に研究学園駅周辺を花いっぱいにしませんか！

■連絡先 kenkyugakuen.green@gmail.com

グリーンの会のインスタのダイレクトメッセージでも連絡可能です！



茨城県知事免許(12)第2559号 つくば市研究学園5-14-1
ISSEI 一誠商事株式会社

- 不動産 購入・売却
- お部屋探し
- 賃貸管理
- 資産運用・相続



研究学園支店 9:00~18:00
水曜定休*2月~4月第一週は無休
029-868-7511

一誠商事は「つくばイクシバ！」活動に参加しています。



つくばイクシバ！

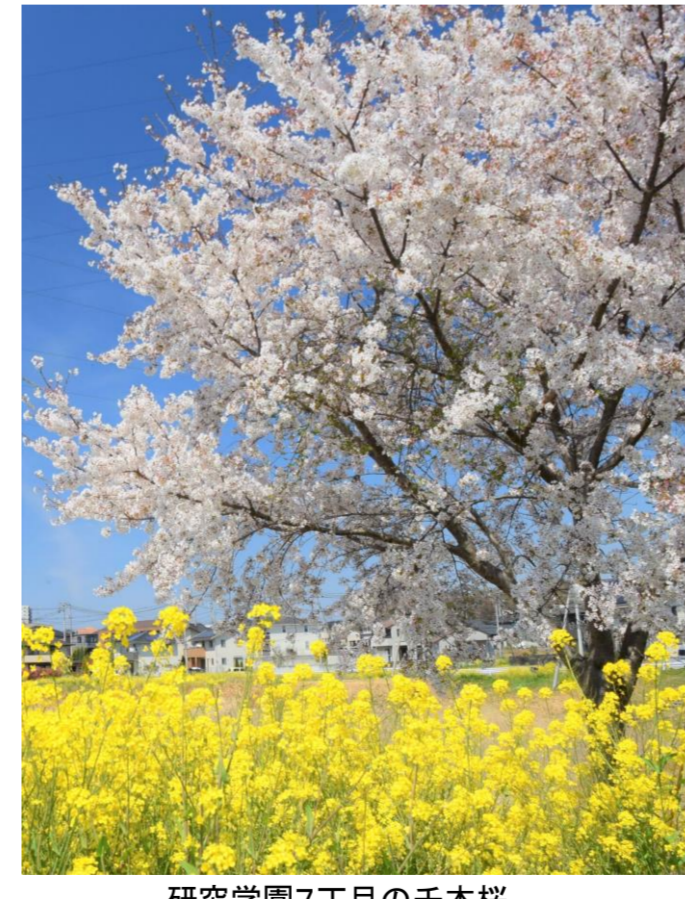
毎月第二土曜日、竹園西広場公園で活動しています。芝生育ては地域育て！
★★参加者いつでも募集中★★

この街が大好き

様々なイベントがあり出会いや発見が楽しみ！

1年ほど前にこちらに引っ越してきました。来る前は研究学園という名前と、つくばという土地柄は、「研究施設が多い街」というイメージが強かったのですが、来てみると住宅が多く商業施設や店舗がとても充実していてびっくりしました。歩道が広く道路も整備されていて、住みやすいように良く考えられた街だと感じています。駅前の公園では、マルシェなど様々なイベントが開かれ、いろいろな出会いがあっただけでなく、いろいろな発見や発展がある街だと思っております。とても楽しみにしています。

治田幸司さんファミリー
(研究学園5丁目在住)



研究学園7丁目の千本桜

編集・発行 研究学園グリーンネットワークス・カルチャーの会 広報紙「ひろば」ワーキンググループ

Mail machi_hiroba@yahoo.co.jp

カルチャーの会(つくば市「地域まちづくりグループ」登録団体)

デザイン監修 筑波学院大学地域デザインセンター

監修 太田恵子 協力 一般財団法人つくば都市交通センター



住んでよかったまちに ふるさとと思えるまちに



けんがくまちづくり実行委員会

『けんがく活動団体協議会』の交流会は、早くも大きな展開をみせています。話し合いの中で「グループ同士がコラボして楽しいことをしよう！」という声があり、昨年4月に第1回研究学園さくらまつりを開催しました。多くのボランティアの皆さんや地域企業の方々の協力を得て、好天に恵まれ満開の桜のもと、300人を超える住民の皆さんに楽しんでいただくことができました。さらに昨年秋には、研究学園駅前商店会の皆さんの協力を得て、けんがくハロウィンを開催。トリックオアトリート、仮装コンテスト、ゴミ拾い、ゴミ袋アートなど盛りだくさんの企画に600名を超える参加がありました。コンテストには商店会や企業の方々から旅行券やお食事券を提供していただき、グランプリに輝いた子どもたちは大喜びでした。

けんがくまちづくり実行委員会は、研究学園が楽しく住みやすいまちになるように、そしてここで生まれ育った子どもたちがふるさとのまちと思えるように、との願いを込めて、住民の皆さんや商店会、企業の方々と共に、さくらまつり、ハロウィンイベントを地域のお祭りとして育てていこうとしています。

ハロウィン



さくらまつり



イベントにご協力いただいた支援者からのメッセージ

研究学園駅前商店会も一緒にまちづくりに参加します

研究学園駅前商店会は10年ほど前に結成しました。今まで商店会として、思うようなイベントや企画ができず、ここ数年はコロナ禍にあり先行きが見通せず、動きがとれない状況でした。そんな中、ハロウィンイベントへのお誘いは、カルチャーショックともいえるものでした。トリックオアトリートで子どもたちが回ってきてくれた時は、店の中が明るくなって笑顔がひろがって。こんなことができるんだ、と“目からうろこ”の思いでしたね。これまでほとんどなかった住民の皆さんとのつながりが、少しはできたかなと感じています。今後も協力し合って、このまちを盛り上げていきたいですね。

研究学園駅前商店会会長 高野武雄さん

一けんがくまちづくり実行委員会の参加団体

グリーンネックレス・タウンの会 つくばdeプレイパークひろめ隊 だれでもウォーキング グリーンネックレス・カルチャーの会 サロンゆうゆう つなぐ会 葛城版コミュニティスクール準備会 (生活支援コーディネーター)つくば市社会福祉協議会

第2回 研究学園さくらまつり

3月26日(日) 11時～

研究学園駅前公園

様々な催しを用意しています。
ご家族でおいでください

- *ゴミ拾い *さくらラリー *玉入れ *輪投げ
- *青空図書館
- *けんがく文化祭
- 体験 モルック、グランドゴルフ、昔あそびスクエアステップ
- 発表 読み聞かせ、楽器演奏、歌と演奏、歌う英会話、がま口上、ベリーダンス
- 展示 水彩画、植物画、書道

「けんがくハロウィン」が「つくばSDGsアワード」表彰を受ける

けんがくまちづくり実行委員会が昨年10月30日に行った「けんがくハロウィン」のイベントが、つくば市「つくばSDGsアワード」において優秀な取り組みとして表彰されました。「社会課題の解決につながる優れた取り組みをした」とグループの活動が評価され、応募のあった20件の中から選ばれました。



「研究学園の活動団体」の様子はSNSで発信

- けんがくまちづくり実行委員会のInstagram・Twitter
けんがくまちづくり (@kengaku.machizukuri)・Instagram
けんがくまちづくり (@kengaku_machi) / Twitter
- よかっぺ研究学園のブログ
研究学園の新しい施設や変化する街の様子などを発信
よかっぺ研究学園 (yokappe.blogspot.com)

一休刊について

当紙は、2016年に発刊し8年にわたり発行してまいりましたが、諸般の事情により今号を以て休刊といたします。読者の皆様、ご支援、ご協力をいただいた皆様には深く感謝申し上げます。

研究学園まちづくり広報紙ひろば/研究学園グリーンネックレス・カルチャーの会

森のおうち みんなあつまれ!一緒に食べよう!

つくばに引っ越してきて、親戚も知り合いもないのは心細いもの。困った時に助けを求める友人や相談相手ができないままだと、孤独に陥ってしまいます。そこで、「忙しすぎて子どものご飯を作る余裕もない!」「お友達がほしい!」、そんな切実な声を聞いたメンバーが立ちあがり、2022年7月に「森のおうち」をオープンしました。ここは、子どもたちにおいしい食事を提供する憩いの場であり、ママと子どもたちの居場所です。

“自分の子育て期に助けてもらった恩返しをしたい”と集まったスタッフは、子育てが終わったベテラン主婦たち。みんな薬剤師、看護師、保育士、調理師、栄養士などの資格もっています。栄養バランスを考えたボリューム満点の食事を提供。食事を楽しみながら、おしゃべりしたり、子育ての悩みを気軽に相談したりできます。心地よい木の温もりに包まれた解放感あふれる室内。絵本やおもちゃなどは、ほとんどが寄付でいただいたものです。子どもから大人まで、一人でも大歓迎!ぜひお越しください!



未病は
薬食同源



子どもとママ
の居場所

森の薬膳 CoCo Tea

気軽に薬膳を楽しめるお店が昨年5月にオープンしました。お店は、薬局の“あけぼのファーマシーグループ”が「薬食同源」の考えのもと監修し、病気を発症する前の「未病」といわれる症状の改善を目指し、ひとりひとりにあった食事と薬膳茶を提供しています。



メニュー考案者の木村祐子さん(薬剤師、中医学(漢方)の専門家・国際中医師)

体質にあわせた薬膳茶は8つのタイプの中から選ぶことができます。見慣れないお茶の名前でも、丁寧な説明や、わかりやすい説明書きもあるので安心。食事は、薬膳スープが人気です。デトックス、美肌、疲労回復、冷え性改善の4種類からチョイスでき、ぴったりのスープが選べます。「5」がつく日は薬膳カレーの日。季節毎に内容が変わる特製カレーも見逃せません!忙しい家事や仕事に疲れた時、身体と心を温めたい時に、ぜひお立ち寄りください。ご来店をお待ちしております。

デトックススープ

鶏肉、蓮根、ごぼう、金針菜、百合根、黒きくらげが入っています。添加物など一切使用していません。体の調子を整える効果がある薬膳です。



桂皮杜仲茶

杜中茶をベースに、桂皮、カルダモン、八角、生姜、ハト麦が入っています。陽気不足した時にお薦めの薬膳です。スパイシーな味を楽しみつつ体が温まるのが実感できます。



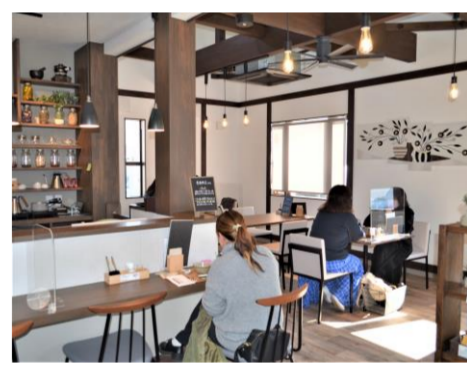
営業時間 ランチタイム11:30~14:30(L014:00)
ティータイム14:30~16:30(L016:00)
定休日 毎週水・日・祝(変更もあります)
TEL 029-829-6996



オープン 第2・第4水曜 15:00~19:00
食事提供 17:00~19:00
料金 大人300円 子ども100円
予約制 QRコードからお申し込みください
場所 森の薬膳 CoCo Tea 内



森のおうち・森の薬膳CoCoTea
住所 つくば市学園の森2-39-1



Check!
ひろば編集者イチオシのお店!



「鮪と米」研究学園店

つくば初の鮪井専門店です。1号店のひたち野うしく店に続き、2店舗目として昨年4月にオープンしました。看板メニューは店名にもなっている「鮪と米」。つくばの名店「鮪たけもと」監修とあって、季節ごとに最上質の天然鮪がたっぷり乗り、特製の煮切り醤油をかけた鮪井は極上の美味しさで、大勢のファンがいます。一日50食の限定で、お昼時はすぐ満席に。店名の通り、こだわりは「米」で地元の「常陸小田米」を使用しています。「鮪たけもと」提供のまるやかで希少な「赤酢」を混ぜた「赤酢米」は、まさにお寿司屋さんの味そのもの。店長の東野さんは「シャリの温度にもこだわり、約50度を専用の保温庫でキープしますので、冷たい切身と温かいシャリのギャップが感じられ、一度食べたら病みつきなること間違いありません」と太鼓判を押します。座席はカウンター9席のみ。予約をすれば、全ての商品がテイクアウト可能。つくば唯一の鮪井専門店、こだわりの鮪と米をぜひ味わってみてください。



営業時間 11:00~15:00(L/O 14:40)
17:00~21:00(L/O 20:40)
定休日 年末年始
電話 050-5385-3961
住所 つくば市研究学園5-15-9